

京都産業大学との連携企画

フューチャーデザインを使って 地方財政を考える



令和6年1月11日 開催
財務省 近畿財務局 京都財務事務所

CHIHOMEN NEWS vol.118



開催経緯

京都財務事務所が京都産業大学で平成31年から実施している出前講座。

近年、財務省では『フューチャーデザイン』という新しい考え方を推奨していることや、地元自治体の令和4年度決算が21年ぶりに黒字転換したことを踏まえ、

「例年実施している業務紹介に加え、自治体の財政を題材に、『フューチャーデザイン』を用いて、学生たちに考えてもらうグループワークをしてはどうか。」と、ちほめんから発案があり、大学側に打診。

菅原教授からは「当ゼミの主要テーマは『まちづくり』。学生に地方財政の現状や、新しい考え方について学習する機会を与えてもらえるのは大変ありがたい。」と快諾いただきました。

「フューチャーデザイン」の手法を用いた講座は、管内初の取組み！！

👉 当日の様様をご覧ください。

当日のプログラム

I .若手職員による業務紹介

II .自治体の財政事情について

III .フューチャーデザインとは

IV .グループワーク

■ 業務紹介のポイント

- ・財務専門官ってどんな仕事？
- ・経産局や国税専門官との違いをわかりやすく

■ グループワークのねらい

2050年にタイムスリップ！ 未来人になりきって、現代人へメッセージを送る



- ・フューチャーデザインという、将来世代の利益も踏まえた意思決定の手法を知る
- ・現状の課題解決に囚われすぎず、自由な発想で将来可能性や財政を考える

■ 準備～本番まで

フューチャーデザインの手法をいち早く財政教育プログラムに取り入れた東北局・盛岡事務所から資料提供を受けましたが、その資料では、「国の財政」を題材にしていたため、リバイスが不可欠。

まずは、自治体の財政に関する資料集めから開始。

“学生にわかりやすい資料にするには？” “限られた時間の中で、闊達な議論をしてもらうには？”と、意見を出し合いました。

本番を想定した予行演習を実施。各々発表時間の調整や、当日の流れについて最終確認をしました。

12/11 第2回打ち合わせ

1/11 いざ本番！

11/30 第1回打ち合わせ

12/26 第3回打ち合わせ

各自で持ち帰った宿題を集め、資料の再確認。
管内初の取組みのため、資料の大部分をリニューアルする必要があり、とても大変でしたが、メンバーで協力して行いました。

入念な準備の甲斐もあり、学生たちの議論は白熱しました！ 大成功！

■当日の様

I.若手職員による業務紹介

講義冒頭、ちほめんからゼミ生に向けて、
財政や金融、国有財産等の財務局業務の概要や
「財務専門官」について、説明。

👤市役所はイメージがわくけど・・・国家公務員の仕事って？

👤国家一般職と国家専門職の違いは？国税専門官、経済産業局とどうちがうの？

などの疑問に答えるスライドでした！



国家公務員の種類について

🐱 本日の流れ

- 1.自己紹介
- 2.国家公務員とは
- 3.業務紹介
- 4.財務局とのA.R.E (違い)



➤ 国有財産の仕事

国有財産の売却や貸付を行っています。

④売却の成功イメージ



→京都1統括官に②維持管理、③売却・貸付を担当



講義後、公務員を目指す複数のゼミ生から、**財務局業務について質問が
来ました！** 来年再来年が楽しみです！

■当日の様様

Ⅱ.京都市の財政状況について

財務局業務について理解していただいたところで、「自治体の将来可能性について考えるワークショップ」をスタート。まずは、財政の資料を用いて

- ☑これまでの市の財政状況はどうだったのか？
- ☑現在の市税収入、支出の状況は？
- ☑それらを踏まえ、市ではどんな取組みをしているのか？

について、説明。

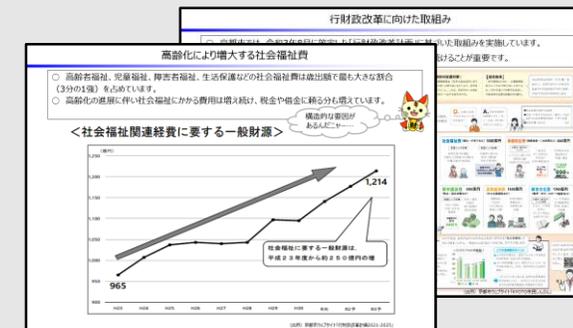
ゼミ生が理解しやすいよう、ポイントとなる部分を補足したり、参考資料も配布しました。

財務課の知見を活かして、要点を押さえ、

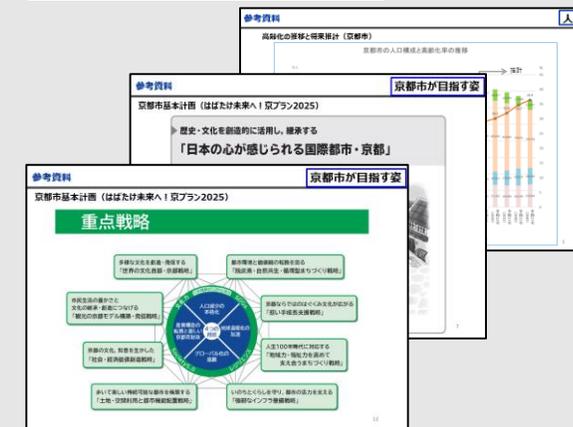
難しい用語は噛み砕いて説明するよう工夫しました。



レジュメ



参考資料



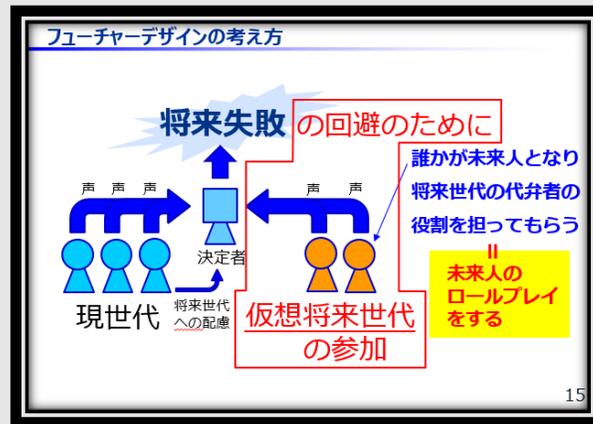
■当日の様様

Ⅲ.-① フューチャーデザインについて

続いて、財政を考える新しい手法である

「フューチャーデザイン」について説明。

2050年の未来人になりきって考えて
みましょう



フューチャーデザインとは…

将来世代は現在の政策決定等に意思を反映できないという問題意識に立ち、現世代が将来可能性（将来世代の利益のために行動しようとする潜在的意欲）を発揮できる社会の仕組みをデザインすること。

フューチャーデザインという手法を、
わかりやすく説明するよう心掛けました



30年後の市は
どうなっているか
な？



未来人の視点で
現代人に送るメッセージを
考えよう



■当日の様

IV.発表&講評

白熱した議論をまとめ、各班から発表。

学生ならではの自由な発想と斬新なアイデアが
沢山ありました！



講評

短い時間でしたが、活発な議論をしていただきました。

「地下鉄の民営化」や
また、新しい税金の案として、
「少子化対策のエンゼル税の導入(※)」
「参拝税や入京税の導入」など、
斬新なアイデアがたくさん聞けて、とても面白かったです。

※大阪府池田市で行われている「エンゼル車提供制度」(3人目の赤ちゃん誕生で乗用車無償貸与の取組み)をモデルに、京都市でも同様の取組みを実施し、その費用を新たな税で賄おうという案。



ゼミ生の声



財務局の仕事に魅力を感じ、働いてみたいと思いました。



地元自治体の財政の現状がよくわかりました。
新しい税金を考えるのが難しかったけど、様々なアイデアがあり、面白かったです！



将来世代の代弁者を議論に参入させるフューチャーデザインの考え方は画期的。未来の可能性について話し合うのは大切だなと感じました。



菅原教授より

6名のちほめんが各班のサポートをしてくれたおかげで、ワークがスムーズに進み、内容の濃い90分となった。
今回教えてもらったフューチャーデザインの手法を、今後のゼミのフィールドワークでも、ぜひ取り入れたい。

これからも京都財務事務所では、学生の街・京都において地域の課題解決を担う人材育成に資する取組を推進してまいります。

近畿財務局京都財務事務所

TEL : 075-752-1417/E-mail:kyoto-soumuka@kk.lfb-mof.go.jp